

今週の言葉



性格は変わらない、行動は変えることができる

こんな話を聞いたことがあります。



友人は入社試験で、あまりに緊張してしまい「家業は何ですか」との質問に「かきくけこ」と答えてしまった。家に帰るまで、なんで「力行」を尋ねられたか分からなかったようだ。

(キャリアサポート室注：現在は、家業をたずねられることはありません。)

さまざまな事前調査を経て、入社を希望する会社を決めます。いよいよ面接試験となれば、誰もが緊張します。しかし心配は無用です。面接官が知りたいのは、皆さんが答える内容ではなく、今までどのような努力をしてきたのか、またこれからどのように生きる心構えを持っているか、入社後どのような働きをしてくれるのかなどです。言葉の端々から飛び出す本音を知りたいのです。思わず出てくる言葉は、その人の人間性、行動習慣、その他日々努めていることです。面接官は皆さんの本当の姿を見抜きます。付焼刃では通用しません。

私の前任校のゼミ生で、全国展開をしている企業に1番で合格した人がいました。面接で、受験した会社の知っていることを述べるようにと求められました。コマーシャル・ソングを知っていると答え、許可を得て本当に歌いました。テレビでなじみのある歌だったそうです。面接官は他人と異なるユニークな回答に将来性を見出したのでしょ



人生にはいくつかの節目があります。たとえば大学入学、就職、結婚・・・であり、人それぞれにより異なります。人生の最後に、よい人生を送ったと回顧できるためには、日々の振り返りが必要ですが、この節目が大きな力となります。「三つ子の魂百まで」と言われるように、もって生まれた性格はなかなか変えられません。もともと動くことがあまり得意でない人が、毎日決まった活動を強いられるといやになることがあるかも知れません。



しかしあえて動いて行動する習慣は身に付けることができます。

しばしば専門の落語家が「家ではいたって無口である」と聞くことがあります。本当に話をするのがあまり好きでないのか、いろいろなところで多くを話すので、家に帰ってまで話す気にはなれないのか、全くの冗談なのか不明ですが、本当に話が好きでない人も何人かはいるかも知れません。いずれにしても性格を克服して習慣にしている人たちがいることは確かでしょう。

就職試験を契機に、経営学をもっと広くかつ深く学んでみようと思えることはできます。自分で勝手に、机の前でじっと座ることが得意でないと思っている人がいるかも知れない。多くの場合、誤った思い込みであり、仮にそうであっても実際やってみればわけなく変えられることが多いものです。

普段から目標に向かって努力している姿を面接では見てもらいましょう。いや、別に面接官によくみられるためではなく、皆さん自身の将来のために就職活動を節目にしてはどうでしょうか。

性格は変えられなくても、行動は変えられる！！ 今すぐにでも試してみよう。

三品 勉



お知らせ！

大学3回生の就活キックオフ合宿が終わりました。その様子は、大学のホームページにアップしておきますので、ご覧になってください。

せっかく燃え上がった炎です。キックオフした気持ちを大事に、大きな炎にしましょう。

就職活動は、行動すること。自分の炎を大きくするのも、消してしまうのも、あなた次第です。

キャリアサポート室

